

産業民生常任委員会 所管事務調査

★令和4年10月21日(金)

【NPO法人大滝まちづくりサポートとの意見交換会】

伊達市大滝総合支所にて、元谷理事長と安藤専務理事より法人の概要や実施事業等について説明を受け、新規事業を進めるに当たった課題等について意見交換を行った。

その後、旧大滝中学校を活用する体験型アクティビティ事業の工事進捗状況、及び、大滝農村公園コミュニティ施設改修工事と運営体制の現地調査を行った。



リニューアルした大滝農村公園コミュニティ施設

総務文教常任委員会 所管事務調査

★令和4年12月12日(月)

【学力向上に係る取組について】

伊達市内の小中学生の学力近況の説明の他に市内独自の取り組み方や教職員の指導力向上に向けた取組を担当者から説明を受け、質疑や要望等、活発に調査いたしました。

- 伊達市の学力近況報告
- 全国学力・学習状況について
- 伊達市学力テストについて
- 学力向上のための独自の取組について
- 教職員の指導力向上の取組について



令和4年 第4回臨時会

★令和4年11月21日(月)

【第4回臨時議会】

- 令和4年度一般会計補正専決処分《概要》
 - ① 電力・ガス・食料等価格高騰緊急支援給付金事業
 - ・ 予算額 2億9,532万3千円
 - ② 農業施設用災害復旧費（堆肥センター）
 - ・ 予算額 1,419万円。
- 条例改正
 - ① 議会の議員、市長、市職員給与条例の改正
- 令和4年度一般会計補正予算
 - 社会福祉施設等食材高騰対策支援金支給事業コ口ナ禍で物価高騰の影響を受けている施設に対し食材費の支援を行う。
 - ・ 予算額 4,805万円
 - ・ 対象 入所施設・入院施設・通所施設
 - ① 経済対策事業（だてのまち応援券第4弾）
 - ・ 予算額 2億円
 - 水道事業会計補正予算《概要》
 - ・ 予算額 3,300万円

いずれも審査の結果、原案通り可決しました。

全 員 協 議 会

★令和4年11月21日(月)

【伊達市農業研修センターの運営方針について】

- 事業の概要
 - 稀府農業研修センターと関内農業研修センターにおいて、研修生が知識と経験を結び付けながら学べる環境を整備し、経営的な視点を持って安定的な営農を行うことができる担い手を育成する。併せて新たな技術の実証試験や既存の農家への技術支援を行うなど、広く地域農業の活性化に資する事業展開を行う。
- 農業研修センターごとの特徴
 - ・ 稀府農業研修センター
 - 次世代型ハウスにより、就農研修を行うとともに、当該ハウスをリース方式で利用した高収入な新規就農者の独立営農を目指す。
 - ・ 関内農業研修センター
 - 慣行型のビニールハウスでの環境制御技術下における研修体制を整備し、安定的な営農を行うための知識や技術の定着を促す。

デジタル化推進・ブドウ生産事業

▽令和みらい 阿戸 孝之・小久保重孝

犬塚 貴敬・田中 秀幸

佐藤 匡則・荒井 秀樹

★かみしほろ上土幌町 令和4年10月19日(水)

【上土幌町役場】

ICT推進及び行政DXに精通した人材を受け入れて、役場内の業務システムの課題を洗い出し、事業のデジタル化を進めている。注目する事業を挙げると

- 1 福祉バスのデマンド化（移動の効率化）
- 2 かみしほろチャットボット（業務の効率化）
- 3 町民向け一斉情報配信システム（情報発信）

結果的に市民サービスの飛躍的な向上が図られたとのことである。また、実証実験中であったが、自動運転バス、ドローンによる配送サービスなどについても、今後の本格導入に向けて進めている。

内閣府のDX専門人材派遣制度を活用し、なおかつ補助金を活用している点についても参考になった。

★いけだ池田町 令和4年10月20日(木)

【池田町ワイン城】

正式名称は池田町ブドウ・ブドウ酒研究所。

日本初の自治体ワイナリーであり、財政再建を図る

ため、昭和32年当時の町長が始めた事業である。ブドウ栽培を開始した当初は、苦労に苦労を重ねて、品種改良を繰り返し、ブドウ栽培、ワイン造りを確立させてきた。

池田町におけるワインの消費量は平均よりも約5倍ということである。また、中学生がブドウを収穫し、成人式で自分たちが摘んだブドウのワインで乾杯するイベントを開催している。

栽培に関しては、ブドウの木に土を盛った越冬の方法、強い木にするため横に這わせるなど随所に工夫が見られた。本市のワイン栽培は始まったばかりであるが、栽培への取り組み、文化として広めていくことなどお手本とすべき点が大いにあった。



施設内にあるブドウ畑

行政視察報告

▽無 会 派 寺 島 徹

★石川県野々市市ののいち 令和4年11月4日(金)

【公共交通体制について】

野々市市は、金沢市と隣接し、平成23年に市制移行した町である。平成15年から循環コミュニティバスルートを開業、その後随時増加し、現在、5ルートでの運営となっている。各バス停の間隔は、200メートル程度で、利用頻度は高く、平成27年には延べ乗車人数200万人を超えた。今後は、状況を見ながらルートの変更を考えていく方針である。

今回、実際に乗車してみた。停留所の間隔が近いことや、各ルートの結節点停留所の利用により、ルートの乗り換えがスムーズに行われていることが印象的であった。ワンコインでの乗車でルートを変えても最大300円であることから、高齢者に限らず、学生や通勤者の利用も多いようであった。

伊達市では、現在、大型の道南バスでの市内循環を行っているが、ほとんど乗客がいないように見受けられる。利用者サイドに立った計画づくりが望まれる。

★石川県金沢市かなざわ 金沢21世紀美術館

令和4年11月5日(土)

【休日の集客状況及び来館者の意見聴取】

土曜日であり、好天にも恵まれ、美術館の外庭部分にも多くの家族づれや観光客の姿が目立った。観光で来られた中年ご夫婦は、館内も館外も驚いており、「今までいろいろな美術館へ行つたが、特別展がないのにこのように多くの来館者がいる美術館は初めて」とのこと、また、館内の無料スペースや、館外での多くの人がくつろげるスペースに驚いていた。館内から出てきた、20代後半と思える3人に話を聞いてみた。相変わらず、この美術館の目玉である「プール」は、何度も行き来し楽しんでたとのこと。自分たちの町にもこんな美術館があったら、月1回は行きたいと話していたのが印象的であった。

今回、施設の内面ではなく、外側からの調査となったが、「なぜこの美術館は、多くの人々が入館し、楽しんで変えられるのか」一つの回答を得られたと思う。

それは、「来ると楽しいから」



金沢21世紀美術館

行政視察報告

▽公 明 党 渡 辺 雅 子 ・ 大 光 力

★愛媛県今治市

今治市クリーンセンター バリクリーン

令和4年11月10日(木)

【フェーズフリーを取り入れたごみ処理施設建設の取組について】

ごみ処理施設ではあるが、防災拠点としての機能も備えており、災害時では320人の市民が避難でき、7日間生活可能な生活用品等も備蓄している。また、非常用発電機や災害用マンホールトイレも設置できるように考えられており、災害時の避難所となっている。

また、見学者設備も充実しており、環境学習コーナーや可燃ごみピットの見学、スポーツなどができる大研修室などがあり、多くの市民の姿が見受けられた。

また、ニオイが気にならず毎年フラットホームではその広さを活かし、市民によるフリーマーケットを開催し賑わっているとのこと。考え方を少し変え、日ごろから市民が集える施設となっているのは参考になる。

★徳島県鳴門市 鳴門市役所 令和4年11月11日(金)
【フェーズフリーの考え方等について】

日常の中で大災害時の想像ができないから「備える

こと」ができない。でも、それでは大切な人を守れない。備えられないのであれば、いつも(日常)の取組(物やサービス)がそのまま、もしも(非日常)の時にも生かされる考えをすれば良い。それがフェーズフリーです。鳴門市では平成27年度からフェーズフリーの考えを取り入れており、公共施設(新庁舎や道の駅)や学校教育の取組、また、市民向けにアイデアコンテストを行いフェーズフリーに対しての意識を推進している。

これまでの防災は備える防災という考え。日常時と非日常を分ける考えをやめるこの取組はとても重要だと感じました。

特に、学校教育での取組みでは、日常の教育活動と非日常のスキル育成の両立に役立てることができ、子どもたちが「自分の命は自分で守る」ことができ「助けられる人から助ける人」と成長を促している取組みはとても参考になる。



フェーズフリーについて説明を受ける

西胆振行政事務組合議会

★令和4年第2回定例会

令和4年9月29日(木)

【第2回定例議会】

- 議案第1号 令和3年度西胆振行政事務組合
一般会計歳入歳出決算
…… 原案認定
- 議案第11号 令和4年度西胆振行政事務組合
一般会計補正予算(第2号)
…… 原案可決
- 議案第12号 西胆振行政事務組合職員の育
児休業等に関する条例の一部を
改正する条例
…… 原案可決

★令和4年総務常任委員会

令和4年11月8日(火)

消防指令業務共同運用関係

大光 力・岩村 和則・田中 秀幸

北海道後期高齢者医療広域連合議会

★令和4年第2回定例会

令和4年11月22日(火)

- 議案第6号 副広域連合長の専任について
…… 同意
- 議案第7号 令和3年度一般会計歳入歳出
決算の認定について
- 議案第8号 令和3年度後期高齢者医療会計
歳入歳出決算の認定について
…… 議案第7・8号認定
- 議案第9号 令和4年度一般会計補正予算
令和4年度後期高齢者医療会
計補正予算
…… 議案第9・10号可決
- 議案第11号 北海道市町村総合事務組合規
約の一部変更の協議について
- 議案第12号 北海道町村議会議員公務災害
補償等組合規約の一部変更の
協議について
…… 議案第11・12号承認
- 議案第13号 議事会議規則の一部を改正す
る規約案
…… 可決

寺島 徹

意見書

※意見書とは…

- ①各団体から提出された意見書案は会派ごとに審査
- ②議会運営委員会で協議
- ③出席委員の過半数で決する（可否同数の場合のみ、委員長の可否により決する）
- ④提出された意見書案が過半数の議員の賛成により可決
- ⑤伊達市議会の機関意思として国・道の各機関へ提出
※国の関係機関とは⇒内閣総理大臣、衆議院議長・参議院議長、各担当大臣など

議会運営委員会を12月9日に開催し、意見書の取り扱いについて審査を行った。各団体から提出された意見書は6件で、審査の結果は下記のとおり。
※各意見書の詳しい内容については伊達市HPをご覧ください。

《議会運営委員会での賛否一覧》

本会議への上程の可否	件名	提出依頼者	委員長							
			阿戸 孝之(令和みらい)	田中 秀幸(令和みらい)	小久保重孝(令和みらい)	篠原 一寿(自民クラブ)	堀 博志(自民クラブ)	渡辺 雅子(公明党)	洞口 雅章(なすな)	
○	「学校部活動の地域移行」に関する意見書	ゆきとどいた教育をすすめる西いぶり連絡会 代表 佐 茂 厚 美	○	○	○	○	○	○	○	—
×	物価高騰からくらしと経済を立て直す施策を求める意見書	日本共産党伊達市委員会 委員長 吉 野 英 雄	×	×	×	×	×	×	×	—
○	インボイス制度導入の延期あるいは中止を求める意見書		○	○	○	×	×	×	○	
○	女性差別撤廃条約の選択議定書の速やかな批准を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	—
○	知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書	公明党伊達支部 支部長 渡 辺 雅 子	○	○	○	○	○	○	○	—
○	带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書		×	○	○	○	○	○	○	—

○⇒可 x⇒否